

勿来第一中学校だより

く ん ぶ う



薫風



ゆえん  
【校章の所以】

平和の鳩を表すと  
ともに中学の中を  
表す。また、勿来  
の関の桜や「勿」  
のデザインをイメ  
ージしている。

発行責任者 校長 丹野 英雄

第8号 令和4年9月14日発行

さる9月8日(木)秋晴れの空のもと、21世紀の森  
周辺駅伝コースでいわき市中学校駅伝競走大会  
が行われました。男子は6区間、女子は5区間で襷  
をつなぎました。その結果、女子は優勝、男子は3位  
入賞、という成績をあげました。男女とも継続的に走  
り込みを続けてきました。2学期の始業式後には、出  
場選手激励会を開きました。当日応援に行かれない分、選  
手の健闘を祈りつつ全校生徒と教職員が  
一体となってエールを送りました。応援団による勇壮  
な演舞と全校を挙げた声援は、選手の背中を力強く  
押ししてくれたと思います。

お互いに切磋琢磨しながらも深い絆で結ばれた  
部員たち。仲間の思いを託された選手たちは、持てる  
力を存分に発揮し、若さみなぎる熱いレースを展開  
しました。男女ともに県大会への出場権を得られる6  
位以内をめざしたレースは熾烈を極め、男女とも、見  
事10月5日(水)に開催される県大会へ駒を進め  
ることができました。県大会での活躍にも期待したいと  
思います。駅伝部の部員たちは、目標を掲げ前向き  
に取り組む大切さを勿来一中の全生徒に教えてく  
れたと思います。ありがとうございます。そして、お疲れさま。

さて、2学期は、生徒が主体となって活動する場  
面を意図的に数多く設定してあります。『秋華祭』をはじ  
め3年生の修学旅行など、生徒自らが企画・運営に  
携わり、喜びややりがいを感じる経験を通して積極性  
や主体性を育んでいきたいと考えています。なお、『秋  
華祭』は、現在のところ10月21日を予定しており、ご  
家族の方に限って、学年ごとに合唱コンクールをご覧  
いただく計画でおります。3年生の修学旅行は、9月12  
日から14日にかけて実施する計画でいしましたが、本  
県はもとより旅行先である栃木県でも感染者数が高  
止まりの状況にあるため、期日を11月7日から9日まで  
の期間に変更して実施することにしました。

いずれの行事も生徒の主体性を育む上で重要な  
位置づけにあります。その実現に向けて、毎日の検  
温、手洗いや咳エチケット及び換気の励行、身体的  
な距離の確保、3密にならない学習形態の工夫等に  
努めて参ります。また、こんな時だからこそ、子供たち  
には「困難に耐える力」だけでなく、「困難な問題を打  
開する力」も身に付けてほしいと思います。本校の生  
徒たちには、そうした力を育める基盤が備わっているも  
のと期待しています。

市駅伝競走大会当日の男子スタート直後の様子。熾烈なレース展開を予感させます。



困難な問題を打開する力を…子供たちに

# 心もほっこり 食を通した癒やしの力

「食べる」という営みを通じて、助けを求める人々を癒し続けた佐藤初女さんをご存じでしょうか。初女さんは、青森・岩木山麓の山荘に悩みや問題を抱えた人々を迎え入れ、その声にひたすら耳を傾けた女性です。「おいしいと感じた時に人は心の扉を開く」と、おむすびや山菜といったごく自然な家庭料理を作り共に食卓を囲んだそうです。

初女さんが「食を通した癒しの力」を実感したのは10代の頃。結核を患っていた初女さんは、食べることで、「細胞が響き渡る」ように弱った体の隅々に力が行き渡るのを感じたのだそうです。小学校の教員を経て、戦後染め物教室を開いた頃からその人柄と手料理を慕って自宅に人が集い、自然に悩み相談を受けるようになっていったそうです。

どんな時も来る人を拒まない癒しの場を作っていくと覚悟を決め、平成4年、岩木山麓に山荘「森のイスキア」を開設します。「イスキア」は、生きる目標を失った青年が豊かな自然の中で立ち直った伝説があるイタリアの島名から名付けたそうです。

どうにもならない重荷を感じた時、そこへ行けば自分を見つめ直し、再び現実へとかえることができる力を得る場所。心のふるさとでありたいという思いを込めた初女さん。「食べる」という人間が生きるための根本の営みを通して、「命とは何か」を伝え続けた人生だったようです。そうした初女さんが遺した温かい言葉を『いのちをむすぶ』（集英社）から抜粋して紹介します。

## ともに在ること

ともに食すことは、ともに在ること。どんなに言葉を尽して話すより深いところで通じ合えます。

## 癒し

人の心はたいへん深いものだから、人に人は癒やせないと思うのです。癒やしとは自らの気づきによって心を解放したとき初めて得られるものでないでしょうか。

## 生きる姿

調理には生きる姿があらわれます。…中略…「忙しくて時間がない」と言う人もいますが、そうでなく、できないなりに“なにができるだろうか”と考えると、必ずなにかしら方法がみつかります。“やろう”と決めて始めてしまえばいいんです。



## そーっと

「皮むき器でシャーッとむけば早いのに」と言われるけれど、にんじんも痛いんでないかと思うから、にんじんの姿にそって包丁でそーっとむくんです。

## 足もとに

なにかをしたいという思いに駆られると外へ外へと求めて、足もとのことがおろそかになりがちです。いちばん大切なものは、実は身近にあります。

## ちょっとお休み

人間関係で行き詰まったときや進もうとしても進んでいけないときは、心を騒がせず、しばしそこにとどまって休みます。煮物と一緒にです。時間を置くと味がじんわりふくまれておいしくなりますでしょ。

## 食べるってこと

おいしくて言えば一言ですけどおいしさの中に、これ親切に作ってくれた、私のために作ってくれたとか、いろんなこと考えておいしいねってなる。食べながらおいしいって感じた時に、私は心の扉が開くって。本当に食べるってこと私はストレートに伝わるものだと思って、大事にしている。

## 【教育目標】

自ら進んで学習する生徒  
礼儀正しく思いやりのある生徒  
心身共に健康でたくましい生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒979-0141

福島県いわき市勿来町窪田伊賀屋敷102番地の2

TEL 0246-64-7221 FAX 0246-64-7264

E-mail : nakoso1-jh@city.iwaki.lg.jp